

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士科(昼間部)		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義演習
科 目 名	国際臨床工学概論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時間	後期	教室名	
担 当 教 員	前田 直人	実務経験と その関連資格	臨床工学技士として市立堺病院で15年勤務。 大阪府臨床工学技士会 理事、学術委員会等(1996～)			
《授業科目における学習内容》						
①日本の医療と海外の医療の違いを知る。 ②異文化に触れ、コミュニケーションを通じて国際的な感覚を養う。 ③海外への入国出国に関わる一連の項目を理解することができる。						
《成績評価の方法と基準》						
1. レポート:70% 2. 研修態度10%、出席点20%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
青ファイル(スケジュール・研修資料・メモなど) 事前研修資料1式(特に人工呼吸に関連する資料) (任意)英会話に関するテキスト						
《授業外における学習方法》						
①パスポート申請について必要書類を確認 ②海外保険の内容について一読しておく ③研修内容について事前把握し、疑問点を考えておく						
《履修に当たっての留意点》						
研修中は積極的な授業参加をしてほしい。米国では特に積極性が重要視される。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	今後の準備についての大きな流れを説明することができる。	プロジェクター パソコン	自宅で講義の内容につ いて復習しておく	
		各コマに おける 授業予定	海外研修オリエンテーション			
第2回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	海外研修の目的を説明することができる。	プロジェクター パソコン	自宅で講義の内容につ いて復習しておく	
		各コマに おける 授業予定	前年度の研修紹介			
第3回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	アメリカと日本との違いを説明することができる。特に研修先での 安全管理を中心として。	プロジェクター パソコン	自宅でアメリカについて 調査しておく	
		各コマに おける 授業予定	アメリカの紹介			
第4回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	パスポート申請の手順、準備物、海外保険の内容について説明 することができる。	プロジェクター パソコン	自宅で講義の内容につ いて復習しておく	
		各コマに おける 授業予定	パスポート、海外保険について			
第5回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	渡米に必要なESTA登録方法(費用・支払い方法)を説明するこ とができる。	プロジェクター パソコン	ESTA登録に必要なもの を確認しておく	
		各コマに おける 授業予定	ESTA登録について、たびレジ登録について			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	解剖実習での申請書記載方法、最終説明としての研修中のマナー、服装、安全面での諸注意、米国ドルの換金などを説明できる。	プロジェクター パソコン	許可申請書類を確認しておく
		各コマにおける授業予定	アメリカ研修先の使用施設の許可申請について、最終説明		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	日本の出国手続、アメリカでの入国手続を行うことができる。	研修日誌	手順を確認しておく
		各コマにおける授業予定	入出国手続について		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	アメリカでのスーパーマーケットで日用品の買い物をすることができる。観光名所での安全上の注意事項を説明することができる。	研修日誌	ホテルで過ごすために必要なものを考えておく(水や食料など)
		各コマにおける授業予定	アメリカ入国後の市内観光		
第9回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	米国臨床工学技士、呼吸療法士の歴史を説明することができる。また文化交流では英語でコミュニケーションを取ることができる。	研修日誌	研修内容を事前に確認し予習しておく
		各コマにおける授業予定	研修1日目 (講義)「米国臨床工学技士の歴史」「米国での人工透析の現状」「学生文化交流」「米国呼吸療法の現状」		
第10回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	呼吸療法の基礎(特に酸素カスケード)について説明することができる。実習ではそれぞれの実技を行うことができる。	研修日誌	研修内容を事前に確認し予習しておく
		各コマにおける授業予定	研修2日目 (講義)「呼吸療法基礎」(実習)メディカルシミュレーションセンターでの研修、解剖実習、(施設見学)外来透析センター		
第11回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	呼吸モードを説明することができる。豚肺を持ちたモデルにて、呼吸設定の違いによる影響を説明することができる。	研修日誌	研修内容を事前に確認し予習しておく
		各コマにおける授業予定	研修3日目 (講義)「メカニカルベンチレーション」(見学)臨床工学室、ヘリパッド、PICU搬送室、高気圧酸素療法室		
第12回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	研修を振り返り、研修の総括を説明することができる。	研修日誌	研修内容の振り返りを行っておく
		各コマにおける授業予定	修了式		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	アメリカでのサービスマインドに触れ、その良さを説明することができる。	研修日誌	アトラクションやお土産について調査しておく
		各コマにおける授業予定	ディズニーランド、カリフォルニアアドベンチャー観光		
第14回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	米国での医療や文化についての学びをまとめることができる。	研修日誌	海外研修で学んだことを整理しておく
		各コマにおける授業予定	研修の振り返り		
第15回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	講義、実習、施設見学、ディズニー観光を通じて、海外研修の報告書を作成することができる。	研修日誌	海外研修で学んだことを整理しておく
		各コマにおける授業予定	研修レポート作成		